

## 植物多様性センターの「ミミナグサの怪」

冬の間、葉を茂らせた在来種のミミナグサ。寒中から茎の先につぼみが見えていました。ところが、いくら待っても咲きません。気がつくとき明らかに果実が膨らんでいるのです。どうやら閉鎖果をつけているようです。切れ込みのある白い清楚な花は、暖かくなって訪花昆虫が増えてから咲かせるのでしょう。「寒くても種子を残そう」という植物の強い生命力を感じます。



生育状況：紫色を帯びて、茎を伸ばし四方に這い広がる



1月下旬：大寒の厳しい寒さの中、茎の先に形成されたつぼみ



3月中旬：開花せずに膨らんでガクから伸びだす果実



若い種子：蒴果が開くと中には丸くて平たい種子がある